

# 第1回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

平成29年4月20日(木) 17:30~18:15  
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

- 1 開会
- 2 丹後教科用図書採択地区協議会規約の確認等について
  - (1) 丹後教科用図書採択地区協議会規約について
  - (2) 会長、副会長、監査委員及び事務局長の選任について
- 3 会長あいさつ(地区協議会会長 京丹後市吉岡教育長)
- 4 丹後教科用図書採択地区協議会申合せ事項(案)について
  - ・申合せ事項(案)について、事務局が説明
  - ・承認
- 5 丹後教科用図書採択地区協議会役員について
  - ・丹後教科用図書採択地区協議会申合せ事項の承認に基づき、平成29年度の役員を決定
  - 〈会長〉: 京丹後市教育委員会 吉岡 喜代和 教育長
  - 〈副会長〉: 伊根町教育委員会 石野 渡 教育長
  - 〈監査委員〉: 宮津市教育委員会 山本 雅弘 教育長
  - 〈監査委員〉: 与謝野町教育委員会 塩見 定生 教育長
- 6 平成29年度教科用図書の採択に係る日程(案)並びに予算(案)について
  - ・採択に係る日程(案)並びに予算(案)について、事務局が説明
  - ・承認
- 7 調査員の委嘱(案)について
  - ・調査員の委嘱(案)について、事務局が説明
  - ・承認
- 8 閉会

## 第2回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

平成29年7月31日(月) 13:30~17:25  
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会(地区協議会会長あいさつ 京丹後市吉岡教育長)

2 平成30年度丹後地区使用教科用図書に関する各教科別研究報告

### 【道徳】

#### ① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 教科用図書調査研究報告書(P1~2)のとおり

#### ② 代表調査員への質疑

- ・委員 次の4点について優位性があるかどうか尋ねたい。
  1. 教科書の大きさ
  2. 別冊と本冊のある教科書
  3. 教材が指導観点のまとまりごとに表示されているものとそうでないもの
  4. 考える発問と振り返る発問、それぞれの発問の提示の多さについて
- ・代表調査員
  1. 教科書の大きさに教材が影響されることはありません。大きなサイズの教科書では、図や写真を大きく掲載したり、余白をとって見やすく工夫をしたりすることが認められましたが、小さなサイズの教科書が見にくいということはありませんでした。
  2. それぞれメリット・デメリットはあると思います。別冊のある教科書は、本冊の教材で学習したことをさらに別冊で一層深めるという構成をとっているものと、別冊はほぼノートの扱いになっているものとの2種類がありました。いずれも別冊があることにより、道徳の学習を教科書に沿って進めていくときの手立てになるというメリットがあるように思いました。一方で、一冊にまとめている教科書については、それぞれの学校の道徳の重点や方針に沿った様々な工夫ができるというメリットがあるように思いました。別冊になっているもの、1冊にまとめているもの、どちらにもメリットが生じているのではないかと考えます。
  3. 教材のまとまりの設定の有無については、一長一短であると考えます。テーマを設定して教材を集めている教科書については、テーマについての考えが深められるというメリットがあります。また、テーマを設定していない教科書については、学習指導要領に示されている内容項目をさまざまな時期に児童が学習することができます。どちらにもメリットがあると考えます。
  4. 教材ごとに1つないし2つの発問を示している教科書から、さらに多くの発問を示している教科書まで多様にありました。中心的な発問を1つ示し、あとはそれぞれの学級の担任の先生が発問を工夫する授業の進め方を考慮している教科書と、複数の発問を順序立てて示していくことによりその発問を追っていけば子どもたちが段階的に教材の中身を深めていける構成をとっている教科書です。どちらもメリットがあると考えます。
- ・委員 特別の教科道徳においては、評価が入ってくることを考えると授業記録ないし子どもたちの記録をしていくとなるとやはり別冊のほうがよいのだろうか。評価のために別冊を作っているというような位置づけが強そうなのか、単純に学習効果を高めていくために、焦点化するためにそういったものを整理しようとしているのか、そ

のあたりはどうだろうか。

- ・代表調査員 別冊によって児童の感想や考えを記録させることにより、評価につなげていくことができるような工夫は認められました。自己評価を書く欄を設けている教科書もありましたので、評価を意識した構成も一定認められました。一方で、分冊を設けていない教科書については、授業の中で別途ワークシートを準備したり、ノートを使ったりしながら児童の感想や学習を積み上げて残していくことが必要になってくるだろうと思います。別冊があることでそういったものを改めて用意しないのか、あるいはそれぞれの学校で工夫をしていくのか、これは学校や担任によることになります。学習指導要領解説道徳編には、教科書の教材を主たる教材としながら、様々な教材を組み合わせる学習を進めるということも示されています。ですから、様々な地域教材等も学校で工夫をしていくということになりますと、いずれにせよワークシートの的なものをそれぞれの学校で準備して、学習を積み上げていくことが必要になろうと思います。
- ・委員 小学1年生が入学して最初に道徳を学びだすという部分に着目して質問をしたいのですが、いきなり文章的なものがたくさん入ってくるものとイラストから入っていく徐々に道徳というものが入ってくるもの、どちらがスムーズに入りやすいと思われますか。
- ・代表調査員 1年生の最初は、まだ文字指導をしている段階ですので、児童が文字を読んで教材について理解をするということは非常に難しいだろうと思います。文章で書いてある教材については、先生が教室で読み聞かせをして教材に導入するという工夫が必要であると思います。さらに、例えば道路を歩いている絵を見ながら児童が安全について考えたり、あるいは学校の中で様々な行動をしている子どもたちの絵を見ながら生活態度について考えたりといった工夫が、1年生当初は大事かと思います。多くの教科書が、入学初期の段階は文字を使わずにイラスト等だけの教材を複数配置していましたが、そういった工夫は必要かと思います。
- ・委員 教出の一番上のところに、2時間で扱ってもよいとありますが、道徳の授業で2時間扱いというのは経験がないものですから、2時間ということとは、2時間続けてやるのか、1週間またいでやるのか。これが複数あると書いてありますが、その価値の深まりとか、そういった面は、どういうふうに学校の先生方は思っておられるのか。
- ・代表調査員 週をまたいで2時間で扱うということになりますと、授業をする面ではなかなか難しいだろうと思います。ただ、私も教科書を見ただけですので、この教材がどういう指導の過程を組んで扱われているかということまではわかりませんでした。この2時間教材をどう工夫をして授業するかということについては、今の時点では私からは申し上げることができません。
- ・委員 何かポイントはないかなと見ていたところ、6年生あたりは、同じ話の題材を取り扱っている。例えば杉原千畝さんの話だったり、エルトゥールル号の話だったり。事実に基づく文章だったり、奥様との対話型のお話の作りだったり、教科書の中でそういった色合いというのが感じられることがありました。題材は似通ったことが多いかなというのはありますが、実際にあったことだけを教科書として、題材としてそこから先生方が展開していかれる方が良いのか、それともある程度の心境を、この時こう思ったのだよということまで書いてあることによって、そこから展開していく。ベテランの先生方ばかりではない、これからちょっと若い先生方が増えていくとなると、ある程度マニュアル的に設問が順序立ててある方が良いのかなというところも気になったので、その辺も教えてください。お願い致します。

- ・代表調査員 教材の取扱い方ですが、同じ人物なり出来事を扱っていても、教材のねらいが違う場合があります。例えば、国や郷土を愛する態度という内容項目になるのか、あるいは勇気とか思いやりといったような内容項目をねらっているのか、それによって同じ題材であっても、扱い方についてはそれぞれの教科書で異なっていました。何がよいということではありません。また、教科書によっては、教材文を全部掲載せずに途中まで掲載をして、そこから先を子どもに考えさせるというような工夫もありましたし、すべての文章を掲載しておいて、学級の話合いに委ねていくといった教材もありました。同じ教材でも様々な考え方で扱われているという印象を持ちました。発問についてですが、例えばベテランの先生を想定しますと、中心的な発問が示されていれば、その発問に沿って授業を工夫していかれるのではないかと思います。反面、経験年数の少ない先生にとっては、発問が順を追って示してあることで1時間の授業が行えるというメリットがあるように思います。ただ、委員がおっしゃいましたように、あまりたくさんの発問が示してあると、どうしてもそれに沿った展開から抜け出せなくなるということも、デメリットとしてはあるかもしれないと感じました。
- ・委員 特に高学年になるほど、同じ人物、同じ出来事を取り上げていても、扱うテーマが違うということがあったかなと思います。逆に低学年の方では、最初はだいたい学校のイラストがあって、扱うテーマも全く同じ題材を全社が取り上げていたと思います。これは特に高学年になってからの話かなと思いますが、世間の方でマスコミなんかに取り上げられる話かも知れませんが、国旗あるいは国歌について、学習指導要領ではどのように扱うように示されているのかという点と、それから各出版社ごとに取扱いの差があれば参考に聞かせていただけますか。
- ・代表調査員 国旗あるいは国歌につきましては、学習指導要領では特別活動を中心に扱うと規定されています。具体的には、学校行事等の中で適切に取り扱い、子どもに指導するということになっています。道徳では、国や郷土を愛する態度や国際理解といった内容項目が示されていますので、そこで国旗・国歌を取り上げている教科書がありますが、道徳の中で国旗・国家を取り扱うということは、特段、学習指導要領には示されていません。
- ・委員 先ほど報告いただいた、2の(4)情報モラルと現代的な課題の取扱いの中で、他の各社はいじめ問題のことが書いてありますが、あかつきだけはいじめ問題についての記入がないのですが、全体として取り扱っているのか、いじめとしては特別に取り扱っていないのか、その辺の確認をしていただけますでしょうか。
- ・代表調査員 あかつきについては、いじめの問題と関連させた教材を配置し、本編の教材の中で関連させて学習をするという構成になっています。他の教科書につきましては、いじめの問題に関するテーマを設定して、コラムや特設の教材でも学習をするという構成になっています。あかつきについては、本編の教材の中で関連して学習を進めていく構成でしたので、特設で取り上げていないという意味で、ここには記入をしませんでした。
- ・委員 情報モラルについて、各出版社ともにきちんと指導の方ができているようにご説明いただいたのですが、特にこの出版社が良い、良いという言い方はおかしいですが、こういうトラブルは起きる可能性が多いので、特に注意を喚起しているような出版社があれば教えていただけたらと思います。
- ・代表調査員 情報モラルについても先ほどと同様に、教材の中で関連して扱っている教科書がほとんどすべてでした。この他にも、別途、情報モラルに関するコーナーを設けたり、読み物コラムを設けたり、あるいは本編の教材とは関係なく、教科書の巻末に情報

モラルのコーナーを設けるといった特徴がある教科書はいくつかありました。そこでは、やはり情報モラルに関する教材数については差があったように思います。特にこの教科書が良いということは申し上げられませんが、教材数については差がありました。

- ・委員 道徳教育という範疇で考えた時に、特別の教科道徳と、それぞれ目標というか大きな部分があると思うのですが、特別の教科道徳ということの学習指導要領の目標というのは、自己を深く見つめて、道徳的判断力、心情、実践意欲、そういったものを培っていくというあたりで、さらに大きな部分で道徳教育では自己の生き方を見つめてとかいうのもありますけども、そういった視点で考えると、年35時間の特別の教科道徳だけではおそらく難しいだろうと思うし、やはり日常生活だとか、様々な教科とどのようにつなげていくのか、ということが一番大事だと思います。トータルとして、道徳教育として考えていくことが必要だと思いますので、そういった視点で見た時に、報告のあった2の(5)他教科との関連というところで、道徳教育というものを意識したという視点で見ると、各出版社の教科書の差はいろいろあったかと思いますが、かなり大きな開きがあったとか、そんなことはなかったのか、特定としては言いにくいと思いますので、もう少し詳しくおっしゃっていただければありがたい。特定の教科書がどうのとかいうことはお聞きしませんので。その辺の配慮についてどうかということをお聞きできたらと思います。
- ・代表調査員 他教科や他の領域に広げていけるような特設のページを設けている教科書が数点ありました。一方で、そういったページがほとんどない教科書もありましたので、おっしゃいましたように、ここに関しての差は大きなものがあったという印象は持っています。

### 3 平成30年度丹後地区使用教科用図書に係る選定協議

#### 【選定方法について】

- ・会長 選定の方法については、規約に基づき委員全員一致による決定を原則とし、それがかなわない場合は挙手によるものとする。なお、各市町教育委員会の採択については、協議会で選定したものを採択いただくようお願いしたい。  
先ほどから東書と光村とあかつきとありましたが、中身を判断していく中で、一般的に先生方が使いやすく、中身についても一定の時間内で、先生方の工夫によっていろいろな取扱いができるということで、東書でいかがでしょうか。特にご異議ありませんか。  
〔全員賛成〕

#### ○選定結果

道徳 …… 東京書籍

- ・会長 教育委員会では傍聴もあると思慮されるので、しっかりとした共通の協議結果が必要となる。それらを踏まえ、各市町(組合)教育委員会で採択をお願いする。  
以上、議事を終了させていただく。

### 4 閉会